



— 『期待があるところに魅力が生じる。期待感こそ生きがいである。』 —

住所 札幌市中央区宮ヶ丘1丁目2-1 電話 011-631-0010

<http://www.jingumae-dc.jp>

技術と芸術で医療の現場で
勝負する「歯科技工士」という仕事

~Part1~



~Part2~



マカラボ
makalab.

<https://maka-lab.com/>

「二、三か月、このスマイル通信もコロナの話ばかりになってしまったので、今月はちょっと視点を変えてみたいと思います。

歯の被せ物を作る歯科技工士さん。通常、歯科医院で歯型を取り模型を作ったら、歯科技工士さんが被せ物を作ります。昨今、若者の人口減少もあり歯科技工士さんが少なくなっています。今回、ある全国に幅広く展開している歯科技工所が、歯科技工士の魅力を未来の若い人たちに発信するということで、取材に協力させていただいたので、その記事を皆様にご紹介いたします。

銀歯は、今もワックスで歯の形を作り、鋳型にして鋳造という技法で歯を作っていますが、今のセラミックの歯は、機械が歯を作る時代になってきています。それでも、人の手を加えなければ、皆さんのお口に合うものは出来ませんが、時代と共に医療技術も進化してきています。歯科技工士の仕事は、医療でありながら、アートの感覚も必要です。経験や職人技もまだまだ必要なお仕事です。日本では、どうしても保険治療の仕事、保険外診療の仕事という違いがあります。世界の先生たちの治療を見ると、銀歯はほとんど見られません。銀歯は世界の主流ではないのです。日本の保険制度のためにある特有の治療です。今回は、特別なセラミック治療の流れを歯科技工士の魅力と共に、歯科技工士のスペシャリストを育成する歯科技工所をご紹介します内容になっています。

○ ● ○ スタッフ情報 ○ ● ○

こんにちは。歯科衛生士の佐藤です。今年コロナの対応に追われているうちに、あっという間に上半期が終わってしまいました。ずっと自粛生活が続いていましたが、先月から色んなことが徐々に解禁され、子供達が元気に学校へ登下校する姿を見ると、とても嬉しく感じました。私は、地下鉄での通勤をしていますが、車内の乗車人数を見ながら、徐々に元に戻って来ているんだなあと感じつつも、ちょっとドキドキしながら、自粛時代の乗車人数が少なかった時のことを思い出しては今のところ感染もせず無事に通勤できていることに安堵しています。

これからも第3波が来ないことを願いつつ、引き続き気をつけて過ごたいと思います。一緒にがんばりましょう！



◇ ◆ ◇ 耳より情報 ◆ ◆ ◇

こんにちは。歯科衛生士の浅尾です。今月は歯ブラシについてです。皆さんは、最後に歯ブラシを交換したのはいつか覚えていますか？毛先が広がっていたり、何ヶ月も使っている方は月に一回の交換をおすすめしています。歯ブラシは、毎日使うものなのでしっかり洗って乾燥させても、歯ブラシには雑菌が繁殖してしまいます。また、コシがなくなってきたり毛先が広がっているものを使用していると、歯垢がきれいに取れなかったり、歯茎を傷つけてしまったりします。

磨き方ももちろん大事ですが、歯ブラシをいい状態で使う事がしっかり磨くためのコツですよ。「毎月1日に交換する！」
というように日にちを決めておくといいですね！



今月の言葉

期待があるところに魅力が生じる。
期待感こそ生きがいである。

《お盆休みのお知らせ》

8月9日(日)～8月13日(木) 休診

ご不便をお掛け致しますがご了承ください。

